

# 令和2年度 学校保健統計調査の結果報告（広島県分）の概要について

学校保健統計調査は、学校における幼児、児童及び生徒（以下「児童等」という。）の発育及び健康の状態を明らかにすることを目的として、文部科学省が毎年実施しているものである。

この報告書は、文部科学省が取りまとめた調査の結果（令和3年7月28日公表）のうち広島県分を取りまとめたものである。

## 1 調査の対象

調査の対象は、幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校及び高等学校のうち、文部科学大臣があらかじめ指定した学校（以下「調査実施校」という。）であり、調査実施校に在籍する満5歳から17歳（令和2年4月1日現在）までの児童等の中から、発育状態調査については、文部科学省が指定する抽出方法により一部の児童等を対象とし、健康状態調査については、調査実施校に在籍する児童等全員を対象とした。

広島県における全児童等に対する調査対象児童等の抽出率は、発育状態調査が4.8%（14,661人）、健康状態調査は25.4%（78,237人）となっている。

区 分		幼稚園	小学校	中学校	高等学校	計	【参考】 全国の抽出率
在学者数 (a)		12,713人	150,471人	75,619人	69,135人	307,938人	
発育	調査対象者数 (b)	1,406人	5,843人	4,712人	2,700人	14,661人	695,600人
	抽出率 (b) / (a)	11.1%	3.9%	6.2%	3.9%	4.8%	5.2%
健康	調査対象者数 (c)	2,316人	33,670人	19,587人	22,664人	78,237人	3,340,921人
	抽出率 (c) / (a)	18.2%	22.4%	25.9%	32.8%	25.4%	25.0%

- (注) 1 幼稚園には幼保連携型認定こども園を、小学校には義務教育学校（第1～6学年）を、中学校には義務教育学校（第7～9学年）及び中等教育学校の前期課程を、高等学校には中等教育学校の後期課程をそれぞれ含む（以下同じ）。  
2 在学者数は、令和2年度学校基本調査の結果による。なお、幼稚園については、5歳児の幼児数としている。また、高等学校については、4学年、専攻科及び通信制の生徒数を除いている。

## 2 調査事項

学校保健安全法による健康診断の結果に基づき、児童等の発育状態（身長、体重）及び健康状態（疾病・異常等の有無）を調査

## 3 調査の実施時期

令和2年4月1日から令和3年3月31日の間に実施

## 4 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う対応

令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年4月1日から6月30日に実施される健康診断について当該年度末までに実施することとなったため、学校保健統計調査においても調査期間を年度末まで延長することとした。

このため、本集計結果は、成長の著しい時期において測定時期を異にしたデータを集計したものであり、過去の数値と単純比較することはできない。

# ● 調査結果の概要

## 1 発育状態調査

- ・身長（平均値）  
全国と比較した場合、男女とも全ての年齢で全国を下回っている。
- ・体重（平均値）  
全国と比較した場合、男子は17歳を除く全ての年齢で、女子は13歳及び17歳を除く全ての年齢で全国を下回っている。

### 年齢別 身長（前年度及び全国との比較）

（単位：cm）

区 分		男 子					女 子				
		令和 2年度	令和 元年度		令和2年度 (全国)		令和 2年度	令和 元年度		令和2年度 (全国)	
			A	B	差 A-B	C		差 A-C	A	B	差 A-B
幼稚園	5歳	<b>110.6</b>	109.6	1.0	111.6	△ 1.0	<b>109.7</b>	109.1	0.6	110.6	△ 0.9
小学校	6歳	<b>115.8</b>	115.6	0.2	117.5	△ 1.7	<b>115.7</b>	114.8	0.9	116.7	△ 1.0
	7	<b>122.2</b>	121.6	0.6	123.5	△ 1.3	<b>120.8</b>	120.8	0.0	122.6	△ 1.8
	8	<b>127.4</b>	127.8	△ 0.4	129.1	△ 1.7	<b>127.4</b>	126.9	0.5	128.5	△ 1.1
	9	<b>133.4</b>	132.9	0.5	134.5	△ 1.1	<b>133.5</b>	132.9	0.6	134.8	△ 1.3
	10	<b>138.8</b>	137.9	0.9	140.1	△ 1.3	<b>140.3</b>	139.1	1.2	141.5	△ 1.2
中学校	11	<b>144.8</b>	144.4	0.4	146.6	△ 1.8	<b>146.0</b>	145.5	0.5	148.0	△ 2.0
	12歳	<b>152.8</b>	151.9	0.9	154.3	△ 1.5	<b>151.5</b>	151.1	0.4	152.6	△ 1.1
	13	<b>160.0</b>	159.1	0.9	161.4	△ 1.4	<b>154.2</b>	153.9	0.3	155.2	△ 1.0
高等学校	14	<b>164.8</b>	164.2	0.6	166.1	△ 1.3	<b>155.5</b>	155.6	△ 0.1	156.7	△ 1.2
	15歳	<b>167.9</b>	167.5	0.4	168.8	△ 0.9	<b>156.2</b>	156.3	△ 0.1	157.3	△ 1.1
	16	<b>169.0</b>	169.4	△ 0.4	170.2	△ 1.2	<b>157.0</b>	157.5	△ 0.5	157.7	△ 0.7
	17	<b>170.1</b>	170.4	△ 0.3	170.7	△ 0.6	<b>157.5</b>	157.4	0.1	157.9	△ 0.4

- (注) 1 年齢は、各年4月1日現在の満年齢である（以下同じ）。  
 2 「△」は減少を示す（以下同じ）。  
 3 令和2年度との差（「A-B」及び「A-C」）は小数点第2位を四捨五入している（以下同じ）。  
 4 令和2年度の数値については、いずれの項目も調査時期の影響が含まれるため、令和元年度までの数値と単純な比較はできない。

### 年齢別 体重（前年度及び全国との比較）

（単位：kg）

区 分		男 子					女 子				
		令和 2年度	令和 元年度		令和2年度 (全国)		令和 2年度	令和 元年度		令和2年度 (全国)	
			A	B	差 A-B	C		差 A-C	A	B	差 A-B
幼稚園	5歳	<b>19.2</b>	18.7	0.5	19.4	△ 0.2	<b>18.8</b>	18.4	0.4	19.0	△ 0.2
小学校	6歳	<b>21.2</b>	21.0	0.2	22.0	△ 0.8	<b>21.3</b>	20.6	0.7	21.5	△ 0.2
	7	<b>24.2</b>	23.5	0.7	24.9	△ 0.7	<b>23.5</b>	23.3	0.2	24.3	△ 0.8
	8	<b>27.5</b>	27.6	△ 0.1	28.4	△ 0.9	<b>27.1</b>	26.4	0.7	27.4	△ 0.3
	9	<b>30.8</b>	30.2	0.6	32.0	△ 1.2	<b>30.7</b>	29.9	0.8	31.1	△ 0.4
	10	<b>34.7</b>	33.6	1.1	35.9	△ 1.2	<b>34.7</b>	33.6	1.1	35.4	△ 0.7
中学校	11	<b>39.0</b>	38.1	0.9	40.4	△ 1.4	<b>39.4</b>	38.7	0.7	40.3	△ 0.9
	12歳	<b>44.9</b>	44.4	0.5	45.8	△ 0.9	<b>44.3</b>	43.6	0.7	44.5	△ 0.2
	13	<b>49.6</b>	48.9	0.7	50.9	△ 1.3	<b>47.9</b>	46.8	1.1	47.9	0.0
高等学校	14	<b>54.4</b>	53.7	0.7	55.2	△ 0.8	<b>50.1</b>	49.8	0.3	50.2	△ 0.1
	15歳	<b>58.4</b>	57.9	0.5	58.9	△ 0.5	<b>51.1</b>	50.8	0.3	51.2	△ 0.1
	16	<b>59.5</b>	59.8	△ 0.3	60.9	△ 1.4	<b>51.6</b>	52.7	△ 1.1	51.9	△ 0.3
	17	<b>62.6</b>	62.3	0.3	62.6	0.0	<b>53.3</b>	51.9	1.4	52.3	1.0

- (注) 令和2年度の数値については、いずれの項目も調査時期の影響が含まれるため、令和元年度までの数値と単純な比較はできない。

## 2 健康状態調査

### (1) 主な疾病・異常の被患率等

・疾病・異常を被患率等別にみると、小学校及び中学校では、「裸眼視力1.0未満の者」の割合が最も高く、次いで、「むし歯（う歯）」の者（処置完了者を含む。以下同じ。）の順となっている。幼稚園及び高等学校では、「むし歯（う歯）」の者の割合が高くなっている。

#### 学校種別 疾病・異常の被患率等の上位

(単位：%)

学校種	順位	疾病・異常等	割合	学校種	順位	疾病・異常等	割合
幼稚園	1	むし歯（う歯）	24.1	中学校	1	裸眼視力1.0未満の者	57.9
	2	裸眼視力1.0未満の者	16.3		2	むし歯（う歯）	29.2
	3	口腔咽喉頭疾患・異常	6.3		3	鼻・副鼻腔疾患	9.9
	4	歯列・咬合	5.4		4	歯列・咬合	5.4
	5	鼻・副鼻腔疾患	4.0		5	眼の疾病・異常	5.3
小学校	1	裸眼視力1.0未満の者	38.1	高等学校	1	むし歯（う歯）	32.7
	2	むし歯（う歯）	37.4		2	鼻・副鼻腔疾患	6.3
	3	鼻・副鼻腔疾患	9.3		3	歯肉の状態	5.7
	4	歯・口腔のその他の疾病・異常	4.9		4	歯列・咬合	5.3
	5	耳疾患	4.5		5	歯垢の状態	4.8

### (2) 主な疾病・異常の被患率等の全国との比較

・「裸眼視力1.0未満の者」の割合は、小学校で全国を上回っている。  
 ・「むし歯（う歯）」の者、「ぜん息」の者の割合は、全ての学校種別で全国を下回っている。

#### 学校種別 主な疾病・異常等の全国との比較

(単位：%)

区分	裸眼視力 1.0未満の者		眼の疾病・異常		耳疾患		鼻・副鼻腔 疾患		むし歯 (う歯)	
	広島県	全国	広島県	全国	広島県	全国	広島県	全国	広島県	全国
幼稚園	16.3	27.90	2.8	1.36	2.3	1.97	4.0	2.38	24.1	30.34
小学校	38.1	37.52	4.1	4.78	4.5	6.14	9.3	11.02	37.4	40.21
中学校	57.9	58.29	5.3	4.66	4.9	5.01	9.9	10.21	29.2	32.16
高等学校	X	63.17	4.3	3.56	2.7	2.47	6.3	6.88	32.7	41.66

区分	歯列・咬合		歯垢の状態		歯肉の状態		アトピー性 皮膚炎		ぜん息	
	広島県	全国	広島県	全国	広島県	全国	広島県	全国	広島県	全国
幼稚園	5.4	4.22	2.4	1.11	1.4	0.32	1.7	1.90	0.5	1.64
小学校	3.9	4.88	2.9	3.45	1.5	2.17	2.2	3.18	2.2	3.31
中学校	5.4	5.18	3.4	4.64	5.0	3.91	2.5	2.86	1.2	2.59
高等学校	5.3	4.44	4.8	4.58	5.7	4.16	2.6	2.44	1.4	1.75

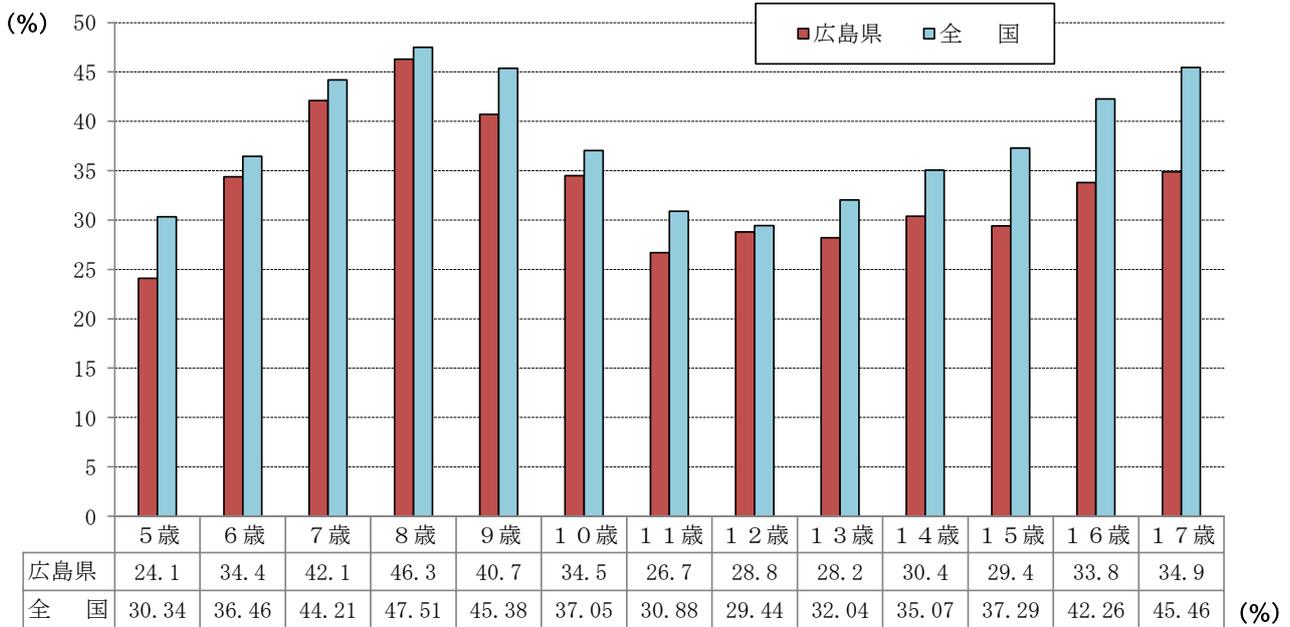
(注) 1 サンプル数が少ないため非公表となっているものについては、「X」と表示している。

2 全国の数値は小数点第2位まで、県の数値は小数点第1位までを表章している（以下同じ）。

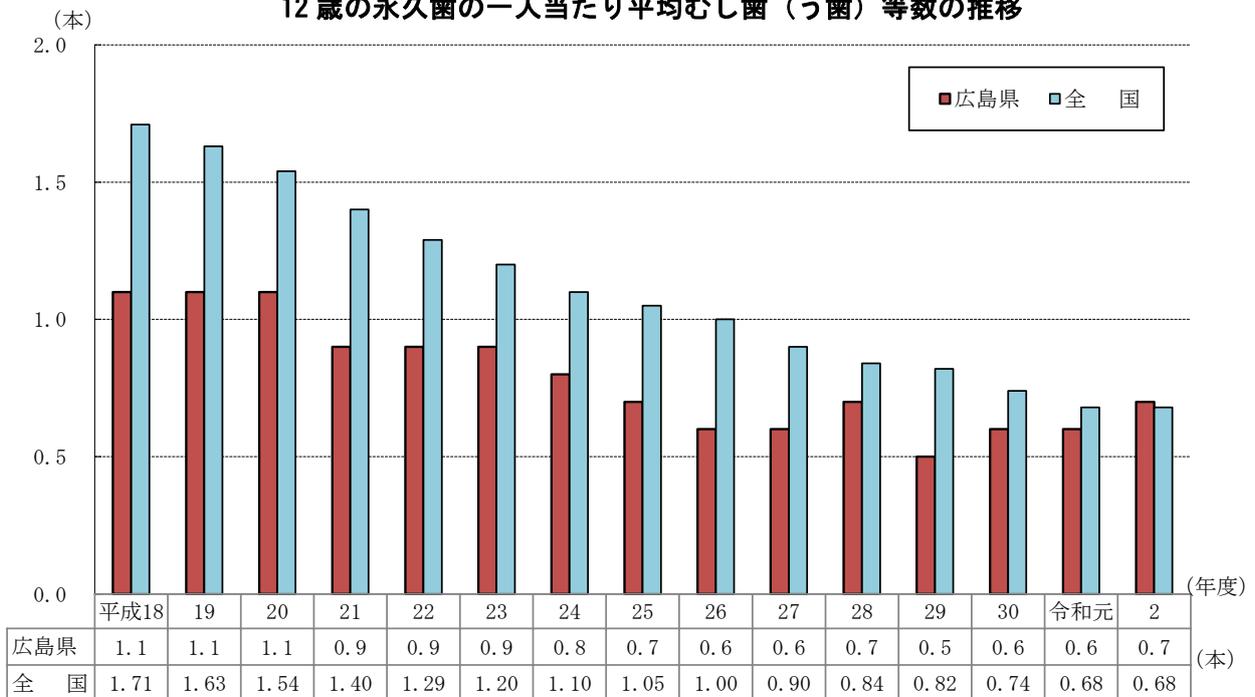
### (3) むし歯（う歯）の状況

- ・「むし歯（う歯）」の者の割合は、8歳が46.3%と最も高くなっている。全国と比較した場合、全ての年齢で全国を下回っている。
- ・中学校1年（12歳）のみを調査対象としている永久歯の一人当たりの平均むし歯等数（喪失歯及び処置歯数を含む。）は、令和2年度は0.7本となっている。平成18年度以降、減少傾向にあったが、平成26年度以降は横ばい傾向となっている。

年齢別 むし歯（う歯）の者の割合の全国との比較



12歳の永久歯の一人当たり平均むし歯（う歯）等数の推移



この報告書の内容は、文部科学省及び広島県のホームページでも提供しています。

「学校保健統計調査」及び「広島県学校保健統計調査」で検索してください。

文部科学省 [https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/chousa05/hoken/1268826.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa05/hoken/1268826.htm)

広島県 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/toukei/gakkohokentoukeityousa.html>

問い合わせ先 広島県総務局統計課 消費経済・教育統計グループ 電話 082-513-2534 (ダイヤルイン)



政府統計